

**出雲の國・斐伊川サミット設立10周年記念事業  
スローライフ・フォーラム in 出雲の國の開催について**

出雲の國・斐伊川サミットは、斐伊川・神戸川流域の2市2町（出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町）の一体的な発展を目指すため、平成19年11月に発足し、文化交流や広域観光などの分野で連携を図り、本圏域の活力を創出する共同事業を展開してまいりました。

このたび、設立10周年を記念し、本圏域への交流人口の拡大及び定住促進を図るため、「スローライフ・フォーラム in 出雲の國」を開催します。

1. 日時 平成29年10月29日(日)13:30～16:30

2. 会場 ビッグハート出雲「白のホール」

3. 概要 (敬称略)

時間	プログラム	発表者等
13:30～	開会・挨拶	サミット会長(出雲市長)長岡 秀人
13:40～	基調講演 「結びあう 分かちあう」	日本社会事業大学学長 スローライフ学会学長 神野 直彦
14:30～	わいわい談義報告(2チーム) テーマ:協働・観光	・海潮地区振興会 会長 加本 恂二 ・出雲観光協会 福田 孝史
15:00～	パネルディスカッション テーマ:『たたら文化・ふるさと創生一次の10年を考える』	(コーディネーター)野村総合研究所顧問 スローライフ学会会長 増田 寛也 (パネリスト)出雲市長、雲南市長、奥出雲町長、飯南町長、スローライフ学会理事

4. 主催等

(1)主催 2017 スローライフ・フォーラム in 出雲の國実行委員会、自治総合センター

(2)共催 出雲の國・斐伊川サミット、スローライフ・ジャパン、スローライフ学会、ふるさと島根定住財団

(3)後援 総務省、島根県、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町、  
国立大学法人島根大学、公立大学法人島根県立大学、  
山陰中央新報社、島根日日新聞社、出雲ケーブルビジョン、ひらたCATV、  
雲南夢ネット、奥出雲町情報通信協会

5. 問合せ 政策企画課 角・原田 TEL 21-6612

# スローライフ・フォーラム in 出雲の國



日本遺産認定 - 稲佐の浜の弁天島と夕日(出雲市)

出雲の國・斐伊川サミットは、斐伊川・神戸川流域の2市2町(出雲市・雲南市・奥出雲町・飯南町)の一体的な発展を目指すため、平成19年11月に発足しました。

このたびサミット設立10周年を記念し、出雲市長・雲南市長・奥出雲町長・飯南町長が一堂に会し、スローライフといった新たな視点で、サミット圏域の10年後、さらにその先を見据え、圏域ならではの地方創生について考えます。

日時：平成29年10月29日(日)

13:30~16:30(開場 13:00)

場所：ビッグハート出雲 白のホール  
(出雲市駅南町1丁目5番地)

テーマ：『たたら文化・ふるさと創生 一次の10年を考える』

## プログラム

13:30 開会

13:40 基調講演

「結びあう 分かちあう」

神野 直彦

(日本社会事業大学学長)

東京大学大学院経済学研究科長・  
経済学部長、地方財政審議会会長  
などを歴任。著書に『「分かち合い」の経済学』ほか。  
スローライフ学会学長。



14:30 わいわい談議報告

15:00 パネルディスカッション

コーディネーター

増田 寛也

(野村総合研究所顧問)

建設省を経て、岩手県知事、総務大臣などを歴任。東京大学公共政策大学院客員教授。著書に『地方消滅 東京一極集中が招く人口急減』ほか。スローライフ学会会長。



16:30 閉会

主催：2017スローライフ・フォーラム in 出雲の國実行委員会、一般財団法人 自治総合センター

共催：出雲の國・斐伊川サミット、NPO法人スローライフ・ジャパン、スローライフ学会、公益財団法人ふるさと島根定住財団

後援：総務省、島根県、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町、国立大学法人島根大学、公立大学法人島根県立大学、山陰中央新報社、島根日日新聞社、出雲ケーブルビジョン、ひらたCATV株式会社、雲南夢ネット、奥出雲町情報通信協会

※このフォーラムは、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。

## ■全国へ発信するフォーラムへ

このフォーラムでは、“ふるさと創生”と“たたら文化”をテーマに地域の次の10年を考えます。

「ふるさと創生」—30年前の竹下政権に端を発します。竹下登元総理は、この地域の出身。ふるさと創生の一億円基金でつくられた「掛合の里」は、道の駅の全国モデルとなりました。いまも雲南市をはじめ、この地域の2市2町は、それぞれ協働のまちづくりについて先進的な取り組みを続けています。

砂鉄採取でできた景観「鉄穴(かんな)残丘」(奥出雲町)



出雲大社の大しめ縄も作っている「大しめなわ創作館」(飯南町)



全国唯一現存する高殿式のたたら製鉄「菅谷たたら」(雲南市)

「たたら文化」—この地域は、豊かな森を循環利用して炭を焼き、砂鉄をとり優れた鉄を造ってきただけでなく、棚田を整備し良米を実らせ、「たたら」を中心にした集落形成、人の繋がりが、多様な産業の育成を果たすなど、生活すべてに影響を与え、今日の姿があります。日本遺産の認定を受けたこの地域づくりの文化が、いま、あらためて注目を集めています。

神話のふるさとであり、日本の先駆けとなった地域です。ここ「出雲の國・斐伊川サミット」のネットワークは、この10年、緩やかな、けれども確実な前進を続けてきました。いまこそ、「速く・強く・大きく」という東京中心と経済優先のファストライフから「ゆっくり・ゆったり・心ゆたかに」地方と人間優先の“スローライフ”を目指すときです。

この地域の人たちと、各地から来訪した人々が交流する、このフォーラムを機に、軸足をスローライフに置く新しい国づくりを、出雲の國から発信したいものです。

～スローライフ学会から

### パネルディスカッションのコーディネーター、パネリスト

コーディネーター：増田 寛也 (野村総合研究所顧問・スローライフ学会会長)

#### パネリスト～地元から



長岡 秀人  
(出雲市長)



速水 雄一  
(雲南市長)



勝田 康則  
(奥出雲町長)



山崎 英樹  
(飯南町長)

#### パネリスト～スローライフ学会から



斉藤 睦  
(地域総合  
研究所長)



坪井ゆづる  
(朝日新聞  
論説委員)



早野 透  
(桜美林大学  
名誉教授)



野口 智子  
(ゆとり研究所長)

神野 直彦 (日本社会事業大学学長・スローライフ学会学長)

### ■「わいわい談義」を2回開催。

このフォーラムでどんな未来を描くか。8月と9月に、2市2町の住民とスローライフ学会からのアドバイザーが、これからの10年を考える座談会「わいわい談義」を開きました。この話し合いの内容をフォーラムで地元座長から報告、パネルディスカッションで論議をつくします。

参加申し込み・お問い合わせについて・

- 地元の方は 2017スローライフ・フォーラム in 出雲の國実行委員会事務局 (出雲市総合政策部政策企画課)  
電話 0853-21-6612 ※フォーラムは参加無料、事前申し込みも必要ありません。当日直接会場へお越しください。
- スローライフ学会から参加の方は、NPOスローライフ・ジャパンまで。なるべくメールでお寄せください。  
氏名、人数、連絡先、交通、マイクロバス利用、夜なべ談義、宿泊など (宿泊は事務局手配のところをお願いします)  
メール slowlifej@nifty.com 電話 03-5312-4141 F A X 03-5312-4554